



初任科第 8 9 期 ～全員の心ひとつ・人生の第一歩を～

静岡県消防学校 初任科だより vol. 2

◆ 効果測定・課外時間 ◆

5月に入り、座学、実科訓練の効果測定が増えてきました。日々の勉強や訓練で習得したことを実力として定着させるために、課外の時間を活用して復習を重ねています。4月に掲げた「全員の心ひとつ」という目標のもと、クラスごと、そして134名全員で教え合い、支え合い、高め合いながら一つひとつの消防知識と技術を身に付けています。

1日の日課が終了すると、夕方の点呼までは課外時間です。座学の予習・復習をする学生、筋力トレーニングに励む学生、制服のアイロンがけをする学生など、各々時間を有効に活用しています。なかでも、お風呂の時間は格別です。学生たちは大浴場で日々の訓練の疲れを癒し、学生同士の絆を深めています。



課外時間の体力練成



課外時間の予習・復習

◆ 第一回野外訓練 ◆

5月10日、第一回野外訓練を実施しました。被災地への徒歩での移動を想定し、消防学校から浜石岳山頂（清水区由比）までの往復約30kmの長い道のりを約20kgの荷物を背負って一日かけて歩きます。

目標として「134の心ひとつ、テッペンとるぞ！！」を掲げ、一人も欠けることなく全員で完歩することを誓いましたが、浜石岳の坂は予想以上にきつく、歩けなくなる者もできました。困難な道のりを互いに励ましあいながら必死に進んで消防学校に帰った時には、参加学生全員の心がひとつになっていました。この訓練の中で、もう一度自分たちが消防の仕事を選んだ理由を思い返し、消防という仕事の厳しさと尊さを再確認しました。



励まし合いながら頂上を目指す学生

結果的に134人全員で完歩するという目標は果たせず、自分たちの体力・気力の未熟さを実感することとなりましたが、8月に行われる第二回野外訓練では、一人も脱落することなく、全員で完歩できるよう更なる体力・気力の練成に励みます。

発行日：平成30年6月28日 発行元：静岡県消防学校
制作：静岡県消防学校初任科第89期文化委員会
浜松消防 中島 富士宮消防 黒柳 志太消防 八木